

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	姫路医療生活協同組合	事業所名	看護小規模多機能てがら
所在地	(〒 670 - 0974) 姫路市飯田 472-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

『住み慣れた地域でその人らしく過ごす事ができるよう医療と介護の両面をサポートします』と理念に掲げています。
『通い』『泊り』『訪問看護』『訪問介護』の機能を組み合わせ、多職種（介護職・看護師・リハ職・管理栄養士）が連携を取り合い、その人の強みを引き出す、その人にとっての自立を見出し引き出す、何事に関しても諦めない事業所を目指しています。
また地域の相談窓口として地域との関わりを深めるために地域の防災訓練等に参加し、協働できるよう努めています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2026 年 1 月 24 日	従業者等自己評価 実施人数	(18) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2026 年 3 月 18 日	出席人数 (合計)	(9) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (___ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (2 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (___ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (___ 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (2 人) <input type="checkbox"/> その他 (___ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念についても部会等で職員に確認していく。 ・夜間想定訓練を部会で実施（センターの避難訓練月に合わせて） ・地域の防災訓練に参加させて頂く（昨年度参加させて頂いた職員と違う職員で） 	<ul style="list-style-type: none"> ・突然、法人の理念を職員に聞いてみたり、虐待の勉強会でも法人・事業所理念を確認する。 ・夜間想定はできていないが、ANPISでの全職員の安否確認等の訓練は出来ている。 ・姫路市の防災フェアに職員・ご利用者様ともに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念については確認できている。 ・夜間想定（職員が少ない21時までの2人体制）（夜勤帯1人）での訓練を行いたいが出来ていない。 ・防災フェアは当日大雨の為、参加出来なかった。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が職員の状況を見ながら各職員に声をかけていく。 ・介護職で意見を言いにくいと感じている職員については管理者より看護師へ伝えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員への声かけや、時期をみての面談。 ・看護師へ言いにくいと感じている職員は聞き取りを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談は実施している。また人事評価やジョブメドレーの研修を導入することで職員の知識向上・キャリアアップにつながっている。 ・介護職から看護師へ伝えたいことがあるがなかなか言いにくいという職員がまだいる。上がってきた声は管理者が聞き取りし、看護師へ繋ぐ。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)			<ul style="list-style-type: none"> ・出来ているので継続。

	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)	<p>看多機の普及を地域住民に行っていく。 各ご利用者様の地域の包括支援センターとも連携を深めていく。 職員へ包括ケアシステムに繋がっていることを毎月部会で周知していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各ご利用者様の地域包括への働きかけはある程度進んでいる。 ・地域包括システムについては、全職員研修でも説明がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続する。 ・地域包括ケアシステムについては研修や部会で説明するがなかなか落とし込めていない職員もいる。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)		<p>無回答職員には、次年度に向けて内容を説明しながら、日々の取り組みがいろんなことに繋がっていることを部会で周知していく。</p>	<p>部会や申し送りで日々の取り組みがいろんなことに繋がっていることを説明。</p>	<p>職員の性格や育成環境が影響しており、何度伝えても伝わりきらないことも多々ある。</p>

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)	<p>災害に関して、近隣住民の助けをもらえるレベルや災害内容別(火災・地震・水害)での支援方法を考えておいた方が良いのでは?いきなり訓練と言っても難しいのでまずは机上訓練を実施してはどうか。(初動が肝心)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部会でまずはチームを作り、災害別の机上訓練を行う。翌月は災害内容を入れ替えて実施する。

II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)		
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員各々がどんな意見でも一旦は聞いてもらえると理解している。 ・自分にできることを考えながら仕事している。 ・『できる事』『できない事』を正直に書いている職員が多く、自己認識が出来ている。 ・良い意見も悪い意見もしっかり書ける職員が多く、心理的安全性の保たれた事業所だと感じた。 ・会議等の記録の保管場所をしらない職員がいる？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・目のつくところに置き、都度声をかけながら周知していく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ看多機の理解度・周知が進んでいない。 ・地域包括システムの内容について理解していない職員がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看多機の普及に向けて、ケアマネブロック研修での勉強会開催、地域の方々へ事業所での勉強会に参加頂けるような機会を設ける、地域サロンへの参加を実施する、近隣住宅へ看多機の説明を実施。 ・全職員研修でも実施しているが、自分の事業所がどこに値しているのか、厚労省の包括システムの図をボードにはり、いつでも見られる環境を作る。また部会でも再度包括システムの再確認をする。
III. 結果評価			

(評価項目 42～44)		
--------------	--	--

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	8	10				<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○法人としても事業所としても理念を掲げそれに沿った介護・支援の実現を目指している。</p> <p>○看取りが近づいたら自宅か事業所か家族も含め話し合いをしている。</p> <p>○在宅が無理と言われた方でもなにか出来ることはないか見出し受入することで地域において在宅生活を続けられるように支援している。</p> <p>○医療ニーズの高い利用者を受け入れ、多職種が連携し在宅支援をしている。</p> <p>○家族の生活リズムに合わせた支援計画が立てられ看多機の特徴を生かした支援が出来ている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>○職員全員が意識で来ていると思う。</p> <p>○⑤についても地域行事への参加計画やいつでも連携が取れる体制が整っている。</p> <p>○医療処置のあるご利用者様やターミナルのご利用者様の受け入れを行っており、在宅生活の支援を行っている。</p> <p>○栄養アセスメントを実施し必要に応じて栄養改善加算への移行。</p> <p>○在宅に帰る時を見つけて医療ニーズの高いご利用者様も状態に応じて帰宅して頂いている。</p> <p>○医療行為はできないが、自分にできることはないか考えながら行動している。</p>					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	7	11				<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○毎朝、理念唱和しており、理念の意識付け出来ている。</p> <p>○看多機のサービス特徴についても家族等に聞かれても答えられるような理解が出来ている。</p> <p>○ご利用者様に必要な支援を多職種連携</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>で取り組み出来ている。</p> <p>○看護師・介護職双方で情報共有が行えている。</p> <p>○看多機のサービス内容を理解し全スタッフが理念を把握している。</p> <p>○毎朝の理念を唱和し意識している。</p> <p>○毎朝の申し送り時に理念を意識しながら仕事に取り組むために声に出して読み上げている。そのおかげで忘れることなく意識して取り組んでいる。</p> <p>○個々のご利用者様に全ての項目が出来ているとは言えないが可能な限りのことを行っている。</p> <p>○ご利用者様のできる事は声かけをし実際にして頂く事でその人らしく生きていけるよう支援している。</p> <p>○全て理解ができ、取り組んでいるか自信はないが、おおよそできていると思う。看護と介護の両面から提供できるよう日々チームワークを大事にしている。</p>					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	5	8	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>実践能力に応じて変更し評価している。</p> <p>○リーダーがチェックリスト等を使用し確認しているが、人員不足で新入社員を勤務することが少なくリーダー自身の目でチェックできづらい様子。</p> <p>○職員同士で声を掛け合い、お互いわからない事等は相談できている。お互いを考える事で知識も身につけている。</p> <p>○自分自身が中長期計画を立てていないからわからない。が不明な点は聞けば丁寧に教えてもらえる環境。</p> <p>○正職員に関しては出来ていると思う。</p> <p>○必要な資格習得等の受講を支援する体制が整っている。</p> <p>○入職してから日が浅く自分自身の業務で精一杯。</p> <p>○無回答 1</p>					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて	8	6	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」につい

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>○先日、喀痰吸引の資格取得のための研修を受け、県に登録した。</p> <p>○法人内だけでなく外部や姫路市主催の研修に参加出来ている。</p> <p>○キャリアアップ・技術向上のため研修等の機会を確保し取得している。</p> <p>○部会等で話し合い、休憩時間でも介護の話題が出ている。</p> <p>○認知症実践者研修・喀痰吸引研修・10ケア等の参加を促している。</p> <p>○法人内外の研修に参加するようにしている。</p> <p>○勤務を調整して頂き研修に参加している。</p> <p>○在宅訪問管理栄養士の資格維持に向けて研修を受講。</p> <p>○人員に余裕がある時は外日の研修や会議などに参加出来ている。</p> <p>○正職員については出来ている。</p> <p>○今年度は全職員研修があった。</p> <p>○業務時間外では研修は受けられていない。悩んだ時はネット・動画を見たりしている。</p>					て、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>○管理者が主体となり、感染対策など日常業務以外で行っている。</p> <p>○無回答 1</p>					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	7	11			<p>・看護師により言うことがまちまちで看護師間で共有してから介護職に伝えてほしい⇒看護師も病院勤務が長かったり、在宅経験が少ない看護師はどうしても伝え方に片寄がある。</p>	<p>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>○朝の申し送りや随時カンファレンスが出来ているが、その時いないスタッフへの申し送りが甘い時がある。</p> <p>○朝礼での申し送りで情報共有出来ている。また医療についての不明瞭な点はすぐに聞きやすい環境にある。ご利用者様の個別内容も月1回の部会で話し合っている。</p> <p>○管理日誌や申し送りで伝達を行い情報共有出来ている。</p> <p>○出来ているが看護師の話がまちまちで看護師間で共有してから介護職に伝えてほしい。(業務に支障が出る)</p> <p>○申し送り・管理日誌・A I T等である程度は共有出来ているが、急な変更や頻</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>回な取り決めの実施等共有されていない部分もある。</p> <p>○3 か月に 1 回栄養アセスメントミーティングを実施し、利用者様全員について協議を行う。</p> <p>○必要な情報はその都度共有。</p> <p>○1 ヶ月に 1 回部会で情報共有。</p> <p>○朝礼や管理日誌も利用。</p> <p>○朝の申し送りや部会、日報などで情報を共有している。</p> <p>○タブレットを確認し、新しい情報を共有している。</p> <p>カンファレンスは積極的に行っていく必要あり。</p> <p>○疑問に思ったことはCMや看護師に相談して情報を共有するようにしている。</p> <p>○毎朝の申し送り時には各職員が参加している。</p> <p>○朝・夕の申し送り、管理日誌、カルテの支援経過等で情報共有されているが、忙しくなってくると読み漏れと伝達ミスも発生している。</p> <p>○他の職員との相談は出来ている。カンファレンスは出勤日数が少ないので出来</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		ているか不明。部会は毎月出来ている。					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	3	7	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ○伝えられたことはこなせているが、自分から情報収集しているかと言われるとできていない⇒気付いている。 	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ○参加したスタッフから内容を共有してもらっている。 ○頂いた意見はしっかりとスタッフ間で共有し助言を活かせるよう検討している。 ○有力な情報が出る場で頂いた意見・情報・助言は大切にしている。 ○頂いた意見や助言は申し送り等で共有している。 ○会議参加者からの伝達だけでなくスタッフの参加も増えている。 ○会議での意見等は申し送り時に伝達されている。 ○出来ている時もあれば出来ていない時もある。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>○サービスに反映はされているが、全職員への周知には至っていない。</p> <p>○翌日の申し送り、部会で話してくれている。</p> <p>○伝えられたことは実践している。が何故それをするのか、自分から情報収集しているかと言われると出来ていない。</p> <p>○無回答 2</p>					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	6	9	2	1	<p>・残業が多くなかなか帰れない（時短勤務者）⇒一時期、ホールに残る職員が少なくどうしても残ってもらうように伝えていたことが多々あったが、現在は人員配置も増え解消している。</p> <p>・どんな意見でも攻められない、否定されない、時間外勤務になっても助け合える環境、心理的安全性が守られている⇒働きやすい環境と言える。</p>	<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○コミュニケーションが取りやすい環境にあるので職員一同でのフォローがしやすい。お互いに協力で来ていると思う。</p> <p>○心理的安全性の保たれた職場作りに努めている。</p> <p>○時短勤務や時間有休等、労働時間への配慮がされている。</p> <p>○残業多く、なかなか帰れない（時短勤務者）</p> <p>○必要だと思った物品等は管理者にお願いするとすぐに用意してもらえる。</p> <p>○H i t o m e Qやシャワーストレッチ</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>ヤー導入で職員の負担は軽減されていると思う。</p> <p>○どんな意見でも攻められない、否定されない、心理的安全性が守られている。</p> <p>○就業時間内に業務が終えるよう調整しているが、利用者様の状態により残業になることもある。</p> <p>○個々の状況に合わせ柔軟に勤務調整されている。</p> <p>○時間外勤務になることも多いが、助け合える環境。</p> <p>○研修等に行ける体制を作ってもらえている。</p> <p>○見守り機器導入で精神的にも負担は減ってきている。残業はたまにある。</p> <p>○短時間の残業は常態化しているが、それいについては安心して働くことが出来る。</p> <p>○わからない事は教えてもらえる。二人介助が必要な時、お願いしてもみんなが助けてくれる。勤務時間・勤務可能曜日等、管理者が配慮してくれているが、当日の欠席等はどうしようもない時がある。</p> <p>○二人介助等はどうすればよいか考えて鼓</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
		動している。他のスタッフへの声かけは気を付けなければと思っている。 ○労働時間への配慮、ストレスチェック、有休も取りやすい。 ○報連相の徹底。					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	8	9	1	<p>・朝の申し送りに出られず情報更新ができないことがある⇒色んな勤務をされており、共有できるように管理日誌の活用や、次勤務者への申し送りで伝えるようにしている。また、看多機ならではの急な変更が多く、どうしても伝わりきらない事もある。</p>	<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>	
		<p>[具体的な状況・取組内容] ○朝礼や管理日誌等で情報を更新している。ただ、遅出や休みが続くと朝の申し送りに出られないので情報更新が出来ないことがある。その際、自分で情報を取りに行く努力が必要になる。 ○ご利用者様の情報更新が出来ていないことがある。 ○都度の申し送りや文章化することで残されており共有・更新出来ていると思う。 ○職員間の会話・情報共有・関係性は良好だと思う。 ○伝達しきれておらず混乱を招く場面有。休みの職員にも確実に共有できる工夫が必要。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>○申し送りやタブレットの更新、確認で共有出来ている。</p> <p>○部会や朝礼、管理日誌で共有可能。</p> <p>○利用者様の状態は、日々のリーダーを中心に申し送りで情報共有を行っている。</p> <p>○新規のご利用者様やプランが変更になった時、はCMを中心に出来ている。</p> <p>○申し送り、管理日誌等で周知出来ている。自身で読み漏れ若しくは勤務中に読むことが出来ず業務に追われる日もある。</p>					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	9	7	1	1		<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○KYTトレーニング・リスクマネジメントの実施。早く話し合ったほうが良い事案に関しては朝の申し送りや毎引継ぎ時に声かけを実施。A I Tレポートの記入期限を設けるようにする。</p> <p>○ヒヤリハットや医療安全委員から情報を集めて、事故防止できるような対策を</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>講じている。</p> <p>○A I Tレポートの提出とそれに対しての各自の意見を記入することでより安全に対応できるようにしている。</p> <p>○医療安全委員への参加が毎月出来ている。</p> <p>○学習会が行われている。</p> <p>○災害や感染症の対応マニュアルは入口の棚に保管されており、定期的と呼んでおくように言われている。</p> <p>○小さなことでもA I Tレポートを提出している。個人情報も各自意識で来ている。</p> <p>○H i t o m e Qの導入</p> <p>○H i t o m e Qを使用し、利用者様が安全に安心して療養できるような対策を行っている。</p> <p>○カルテ類は鍵の掛かる棚に保管。</p> <p>○SECOMの使用や防犯カメラの設置。</p> <p>○アイトレポートを活用し事故防止、再発防止を意識している。</p> <p>○事故などが起こらないように見守り</p> <p>○ANP I S活用。</p> <p>○B C P非常食の確保。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>○定期定な防災訓練をしている。</p> <p>○災害時のマニュアル作成されている。</p> <p>○消防訓練はされているが、自身等の災害時の訓練は具体的には訓練していない。特に夜の宿泊利用者の対応方法は共有されていない。</p> <p>○伝達網の整備が必要。利用者情報は管理者が随時更新している。</p> <p>○災害訓練の実施。</p> <p>○利用者様のアセスメントシートのファイリング。</p> <p>○職員間の連絡先リストの作成。</p> <p>○事故などが起こらないように対策等検討されている。</p> <p>○定期的な勉強会、職員同士の声かけがしっかり出来ていると思う。</p> <p>○HitomeQ、シャワーストレッチャーの導入で安全確保されている。</p> <p>○AITレポートの作成・提出、読んだら印鑑とコメント、部会での周知。</p>					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時において	8	5	3	2		✓ 「緊急時におけるサービス提供

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	も、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○ANPIS活用。</p> <p>○BCP非常食の確保。</p> <p>○定期定な防災訓練をしている。</p> <p>○災害時のマニュアル作成されている。</p> <p>○消防訓練はされているが、自身等の災害時の訓練は具体的には訓練していない。特に夜の宿泊利用者の対応方法は共有されていない。</p> <p>○伝達網の整備が必要。利用者情報は管理者が随時更新している。</p> <p>○年2回の防災訓練</p> <p>○災害を想定して、アンピスを使用し、職員の安全確認などを行っている。</p> <p>○災害訓練の実施。</p> <p>○利用者様のアセスメントシートのファイリング。</p> <p>○職員間の連絡先リストの作成。</p> <p>○事故などが起こらないように対策等は出来ているがマニュアル化が出来ていない部分はある。</p> <p>○自分自身ももっと調べて知る必要はあるが、管理者・BCP担当者、施設としてはきちんとされていると思う。</p>					<p>のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	4	12	1	1	<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○新規導入時から聞き取りしている。</p> <p>○デイがない日もヘルパー対応したり、送迎時にご利用者の自宅の状況確認、ご家族様から様子を聞き取りしたりしている。</p> <p>○栄養評価時等、ご家族様からの情報を正確に取得し在宅時と利用時の違いも含めアセスメントが行われている。</p> <p>○一人ひとりのご利用者様に合わせたプランになっている。</p> <p>○ご家族様や夜勤者からの情報で夜の事を知り日勤帯にも情報を伝え色々検討している。</p> <p>○利用開始時、状況・環境変化時にはアセスメントを行うようにしているが、宿泊時いつもと違った様子や持ち物等、見えない部分の情報が共有しきれていな</p>	<p>✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</p> <p>✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>い。</p> <p>○送迎時、ヘルパー時よりCMやNs、 栄養アセスメントによって状況等を知 ることができ、アセスメントが実施されて いる。</p> <p>○在宅中の利用者様のご様子や介護状況 の把握を行い、アセスメントを行い、介 護職の支援経過記録、モニタリング、支 援を行っている。</p> <p>○利用者様に合わせてプランが作成され ている。</p> <p>○在宅時のご利用者様の状況は把握しき れていない。家族に聞き取って知る程度</p> <p>○ご利用者様がどのように在宅で過ご しているか職員が周知できるように申し送 りされている。</p> <p>○個々のご利用者様に合わせたプランに 望も多くアセスメント出来ているかと言 われると難しいが可能な限り行えてい ると思う。</p> <p>○生活状況に応じ、泊り・通所・訪問を 組み合わせて対応している。</p> <p>○利用する前に面談を実施し、利用者様、 家族様の意向を確認している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	6	8	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○朝の申し送り時に共有出来ている。</p> <p>○特に口腔・排泄・栄養アセスメントを通じて共有する機会がある。</p> <p>○不思議に思った医療の事は看護師に質問し情報を得ている。</p> <p>○朝の申し送りや管理日誌で共有している。</p> <p>○主なアセスメントは記録にない。日々の変化等の突合せは申し送りで共有出来ている。</p> <p>○看護・介護の連携が取れ、情報共有もできている。</p> <p>○タブレットへの入力で共有。</p> <p>○介護職と看護師で日々の利用者様の状態や関わり合いを話し合い、カンファレンスをする機会をもっと増やせたらいいなと思う。</p> <p>○協力して取り組んでいるが全ては共有出来ていない。</p> <p>○両職種の情報共有は密に行われている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>○出来ていると思うが自分はいまだにあまり進んでいない。</p> <p>○申し送りでも気になることがあれば伝えるようにしている。</p> <p>○変化があった際は、情報を共有。</p>					
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	5	11	1	1	<p>○ご家族様の意見・思いが反映されておらず、疑問に思われているかも⇒病状悪化の際には泊り中心になる事もある。ご家族様によっては説明してもなかなか理解して頂けない事もある。</p>	<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <p>○聞き取りは主にCMが行い、細かい内容を共有してくれている。ケアプラン作成でCM・介護職の意見により作成できている。</p> <p>○家族の意見・思いが反映されておらず疑問に思われているかも。ご本人の気持ちに寄り添っているか？ご家族様の思いは？と思う。</p> <p>○ご本人・ご家族様の考えを聞いてケアプランを作成している。</p> <p>○ご家族様からの思いはTEL他、送迎時や困りごとなどが確認している。</p> <p>○双方の意向を踏まえて計画作成している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>○サービス利用開始時は利用者様や家族の意向を確認している。</p> <p>○個々の意向をふまえたプランが作成され実施されている。</p> <p>○栄養アセスメントで実施。</p> <p>○ご家族様の要望なども組み入れたプランを作成し実行出来ている。時にはどうしても今の事業所では対応できない要望も出てくる。</p> <p>○ご利用者様・ご家族様の考えに基づいて計画されているのでそれに沿って支援するようにしている。</p> <p>○可能な限り作成されている。</p> <p>○利用者様の家族様より情報収集、アセスメントを行ってケアマネが計画作成している。</p> <p>○全職員がプランを把握することは出来ない。</p>					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成され	6	9	2	1		<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○個別にセラピストに評価してもらい、介護職でもできる運動を取り入れている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ている	<p>○日頃から生活リハとして歩行訓練や体操等、取り組めるようにしている</p> <p>○ご利用様がどのようなことが出来れば生活しやすいか考え自立支援等行えている。</p> <p>○一人ひとりに合わせたケアの実施、自立支援を促している。</p> <p>○事業所での生活に慣れ、心身・生活機能向上に繋がってくるので在宅における機能向上に置き換えた支援が出来ればと思う。</p> <p>○現場スタッフからの情報を基に自立支援の視点で計画作成している。</p> <p>○栄養アセスメントで実施。</p> <p>○今後、10 ケアの為の運動などをして自立支援に繋がるケアをしていく。</p> <p>○作成されているのでそれに沿って支援するようにしている。</p> <p>○必要に応じて個別のリハ・機能訓練のメニューを用意している。</p> <p>○リハビリ評価など計画を立て実行している。</p>					<p>する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	7	9	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○危険予知トレーニングを行ったりあらかじめ危険がない環境作りをしている。</p> <p>○CMと共に検討出来ている。</p> <p>○状況変化があった時はプラン変更等行い対応している。</p> <p>○主治医の意見、看護師からの情報を基にリスク予測しながら計画作成している。</p> <p>○状態が変わりやすい利用者様については、看護師とカンファレンスする機会を増やしていけたらよい。</p> <p>○栄養アセスメントで実施。</p> <p>○ご利用者様の状態に応じてデイのみを宿泊まで変更したりし対応できている。</p> <p>○状態変化は随時共有し対応している。</p> <p>○基本は出来ていると思うが自分はあまり関わっていないので出来ていない。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	6	11		1		<p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○状況変化に対してすぐに所長やCMに報告を行っているため、早い段階で全体への共有がおこなわれていると思う。</p> <p>○知り得た情報はCM・管理者にすぐに報告しておくれており、スタッフへの共有も出来ていると思う。</p> <p>○職員間でご利用者様の変化の早期発見と対応について良く話し合い、実行に移せている。</p> <p>○状況変化があった時はプラン変更等行い対応している。</p> <p>○訪問で知ったことを報告することでサービス提供について共有、迅速に対応している。</p> <p>○介護・看護との情報から変化に応じたプラン変更を行っている。</p> <p>○日々のケアでの変化を職員間で共有している。</p> <p>○朝の申し送りで利用者様の状態変化に</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>ついて共有し、対応を柔軟に変更で来て いる。 ○栄養アセスメントで実施。 ○病状の変化に伴ってプラン変更してい る。 ○何か気になる事や以前との違いがある 場合は、報告するように努めている。 ○ご利用者様の変化を常に観察してい る。何か変化あれば他職員にも相談でき ている。 ○状況を早期に把握、適宜反映されてい る。</p>					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	5	7	5	1	<p>・泊りをずっと利用している利用者が増えている⇒ご利用者様の急な体調変化や在宅での状況を踏まえ、泊り中忍になっているご利用者様もいる。ただ、お看取りまでできる事業所としては最後まで支える方針の為。</p> <p>・泊り中心になっているご利用者様が多い状況。在宅で過 ごして頂けるような支援を</p>	<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容] ○急な泊りへの変更、デイ・ヘルパーでの対応が出来ている。 ○ご利用者様の状況に応じてヘルパーに切り替えたり在宅日を増やしたりしていると思う。送迎時にご利用者様・ご家族様の変化に気付けるようにしている。 ○状況によりプラン変更等出来ているが在宅時間が少ないご利用者様もおられ</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>る。</p> <p>○泊りをずっと利用している利用者が増えている。</p> <p>○泊りが増えることで本来の在宅療養・家族との関りが減っており、自宅での生活状況を把握するのが難しい。家人の支援も必要だが、関わり方についても注意したい。</p> <p>○訪問日を設け、在宅時の様子観察を行っている。</p> <p>○利用者様の状態に合わせて通いと泊りの調整をしている。</p> <p>○栄養改善加算で実施、必要に応じて栄養アセスメントで実施。</p> <p>○泊りが中心になっているご利用者様が多い状況。在宅で過ごしてもらえよう支援を考えないといけないと思う。</p> <p>○事業所としては出来ていると思うが、自分自身が訪問に行くことは少ないため、出来ていない。</p> <p>○概ねできている。やむを得ず連泊の方もいる。</p> <p>○泊まりは多いと思うが、バランスは取っていると思う。</p>				<p>考えないといけないと思う</p> <p>⇒今期、登録がMAXまでになる月が多々あり、看多機でなくても居宅や小多機で対応できるご利用者様、入所レベルのすみ分けを実施、調整、家族都合だけの泊りは受けず、別事業所や居宅への移行を提案はしているが、慣れ親しんだ自事業所を離れたくないというご利用者様も多い。</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		○家族様の負担を把握して通所、泊まりの調整を行っている。					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	8	9	1			<p>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○一人一人の目標を見出し、スタッフ間で共有出来ている。</p> <p>○多職種との情報共有出来ていると思う。看護師だけでなくST・PT・栄養士とも情報共有出来ている。</p> <p>○ご利用者様によってはST・PTの関与、訪問診療（歯科・主治医等）で情報共有出来ている。</p> <p>○状況変化があれば電話やMCSを通して主治医と連携で来ている。</p> <p>○状態変化に気付いた時は看護師へ報告、看護師から主治医に連絡出来ている。</p> <p>○MCSの活用</p> <p>○会議の参加のできる機会が少ない。</p> <p>○主治医に直接伝えることはないが共有はしっかりされている。</p> <p>○看護師に報告はするようにしている。</p> <p>○必要に応じて情報共有している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		○利用者様の状況変化の情報共有は出来ているが、目標においては共有来ていない。 ○些細なことでも情報共有。					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	10	7			<p>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</p>	
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>○役割分担はしっかりと出来ていると思う。また介護職でできないところの区別をしっかりと付けてくれているので安心して介助等出来ている。</p> <p>○医療は看護師、介護は介護職、それぞれが専門性を理解し分担して業務が行えている。</p> <p>○申し送りで情報共有出来ている。</p> <p>○それぞれできることを把握でき、情報共有やケア・処置等の対応ができる。</p> <p>○双方の役割理解しつつできる範囲で協力し合っている。</p> <p>○吸引や注入等、看護師が忙しい時はサポートしている。</p> <p>○分担・協力が柔軟に行えている。</p> <p>○わからない時は質問し、看護師からも</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		声をかけてくれる。 ○生活面や排泄に関することは、介護職 が活動している。 ○無回答 1					
20	○利用者等の状況について、 介護職と看護職が互いに情 報を共有し対応策を検討す るなど、両職種間の連携が 行われている	8	10				✓ 「介護職と看護職の情報共有お よび対応策の検討」について、充 足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ○お互い知り得た情報はすぐに報告し合 い、連携が取れている。 ○常に情報共有し合えていると思う。お 互いに意見も言えていると思う。 ○申し送りや都度情報共有を行い連携取 っている。 ○介護職だけでは判断できないことにつ いて看護師に相談し対応できている。 ○看護師間で情報共有してほしい。 ○日頃の業務の中では出来ているが、今 後、検討会で意見を出し合うことも必要。 ○情報共有は出来ているが、対策につ いて検討する機会をもう少し設ける必要が ある。 ○申し送り等で共有出来ている。 ○ご利用者様の変化があればすぐに共有 出来ている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
		○病気、身体状況よって看護師が助言してくれる。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	6	10	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○申し送り等情報を共有されている。 ○部会や勉強会、外部研修で得た情報も含め、都度で提案出来ている。 ○介護からの質問に対して丁寧な説明・助言されている。 ○適宜看護師の視点からケアの提案をしている。 ○褥瘡予防等、提案を貰っている。 ○色んな看護師がいるが、困った時は相談・質問させてもらっている。 ○状況変化に応じ、随時具体的な指示・アドバイスがある。 ○『このようにしたらご利用者様にとって良いのではないかと提案を貰って実施出来ていると思う。 ○必要時、情報提供や提案等を行ってくれる。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	6	10	1		<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>	
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○サービスの趣旨は相談時から説明出来ていると思うが、認知症のご利用者様に対しては難しいことも多い。</p> <p>○所長・CMから説明はされているが、ご利用者様・ご家族様がどうしても理解されていないことがある。またネットの情報を鵜呑みにされる方もおられる様子。</p> <p>○説明はうまくできているが、なかなか伝わりづらいご家族様もいらっしゃる。</p> <p>○契約時に説明行い同意を得ている。</p> <p>○相談の段階から説明している。変更等あればその都度説明している。</p> <p>○栄養アセスメントアンケートを3ヶ月に1回配布。</p> <p>○栄養アセスメント結果を3ヶ月に1回お渡しする。</p> <p>○利用前にはご利用者様・ご家族様に事</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>業所の特徴やサービス内容を説明している。都度、理解されているか確認し相違があれば説明している。</p> <p>○可能な方にはしっかり説明している。</p> <p>○一つの動産をするにしても声かけを常に行っている。目線を合わせわかりやすく話すようにしている。</p> <p>○分かりやすく説明していると思う。家族の同意を得てサービス提供している。</p> <p>○在宅生活を送る上で必要な介護指導を実施する。</p> <p>○無回答 1</p>					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	5	8	3	2		<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○ご利用様に聞かれたときには自分なりの言葉で説明している。</p> <p>○わかりやすく説明するようにはしているが、一般の医療・介護の知識がない方に対しては理解してもらいにくいことがある。</p> <p>○計画の内容を説明し同意を得ている。</p> <p>○在宅での留意点や継続していくための必要なことは説明されている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>○家族にとって良い介護方法を継続しながらこちらから提案も出来ている。</p> <p>○ご利用者様は得にくい場合はご家族様に対し説明している。</p> <p>○居宅計画や看護計画を説明し同意得ている。ご利用者様の個別性に応じた経緯格を作成している。</p> <p>○状況に応じ看護師が説明している。</p> <p>○出来ているが、自分あまり説明することがない。</p> <p>○可能な限りご本人・ご家族様に説明されており、自分もしている。</p>					
24	○利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	7	8	1	2		<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○都度、看護師から説明されている。ただ、自分に聞かれた際に完璧にうまく説明できる自信はない。</p> <p>○ENT時、指導等受けておられても難しい場合には在宅に戻られてもこちらでしっかり説明し、理解頂けるまで対応できている。</p> <p>○看護師からしっかりと説明できてい</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>る。</p> <p>○栄養アセスメントや栄養改善加算で実施。</p> <p>○利用者様や利用者家族が退院後在宅で医療処置ができるように必要に応じて特別指示書も依頼し、指導を行っている。</p> <p>○ご利用者様やご家族様が退院後在宅で医療処置ができるよう必要に応じて特別指示書を依頼し指導行っている。</p> <p>○主に看護師がしているがわかる範囲では答えている。</p> <p>○理解を得ていると思うが自分は説明することがない。</p> <p>○オムツで指導などを行っている。</p>					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	9	9				<p>✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>○CMより希望等聞いている。それ以外の介護職でも出来そうなことは所長に確認を取り実施出来ている。</p> <p>○急な変更にも対応している。</p> <p>○本人の意向を家族と共有し一番良いサ</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>ービスを探し提供している。</p> <p>○家族の意向等を聞き反映できている。</p> <p>○本人の表情・しぐさ等も観察し思いが汲み取れるよう心掛けている。</p> <p>○食事提供内容について希望や以降に沿った内容で提供できるよう検討実施。</p> <p>○利用開始にあたっては利用者の意向を確認している。利用開始後も希望や思いを都度確認している。</p> <p>○その時の状態に合わせた支援に取り組んでいる。帰宅できる日をもつて在宅で過ごしてもらえるようにしている。</p> <p>○ご本人の意思、ご家族様の思いを尊重しながら支援している。</p> <p>○出来る限り希望に沿うことが出来ている。</p> <p>○利用者様の意向を聞き、できる限り対応を行うようにしている。</p>					
26	○在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	4	10	2	1		<p>✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○急な状態変化も多く、私自身はそこまで考えが至っていない。</p> <p>○新規利用開始時からしっかりと聞き取</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>り、スタッフご家族様と一緒に検討出来ている。</p> <p>○泊りが多い方もおられ、在宅生活を継続していくのかわからない方もいる。</p> <p>○ご利用者様の状況に合わせ、居宅への移行もしている。</p> <p>○できるだけ早い段階から方向性を話し合い、選択肢について情報提供や提案をしている。</p> <p>○在宅支援する事業所であることをあらかじめしっかり説明しご利用者様の状態や生活背景を踏まえ検討することが出来ている。</p> <p>○在宅中心の生活が遅れているご利用者様もいれば施設中心の方もいるので出来ているとは言えない。</p> <p>○ご本人の意思があれば相談するようにしている。</p> <p>○ケアマネ、看護師が集まり今後の方針を決めている。</p> <p>○無回答 1</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	8	6	1	2		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○ 所長やCM、看護師から説明をもらっている。</p> <p>○ 行き来が難しくなった場合はタイミングを見計らい、自宅かてがら若しくは病院や施設入所か、最期の場所を家族も含め意向確認しており記録にも残している。</p> <p>○ 変化があった場合は職員で共有し記録に残している。</p> <p>○ 主治医と連携を取り記録に残している。</p> <p>○ 看取りの同意書に詳細を示し、説明を行えている。</p> <p>○ 主治医とも相談し連携をはかりながら必要に応じた家族への棒状説明を行ったりターミナルケアのパンフレットを用いてターミナル期のかかわりについてご家族様に説明を行っている。</p> <p>○ 看護師より経過を丁寧に説明されている。</p> <p>○ 無回答 1</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	6	10	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○私自身はE N T前カンファレンスに参加したことがないが、関係多職種のスタッフで参加出来ている。 ○在宅が無理を言われる方でも、糸口を見出し支援している。 ○管理者・CMが退院前カンファレンスに参加し情報を得ている。 ○医師との連携はかなり取れている。 ○早い段階から在宅復帰できるようアプローチし連携支援している。 ○退院時には退院前カンファレンスを実施、病院・在宅医・事業所・家族と情報共有している。 ○カンファレンス記録やサマリーで情報収集し支援を実施。 ○退院前カンファレンスの参加はたまにしか出来ていない。 ○退院前に病院に訪問し、本人や家族と 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>の面談を実施、退院前カンファレンスに参加して情報を共有している。</p> <p>○退院前カンファレンスに参加し、状況に応じたプランが立案されている。</p>					
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	6	9	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○主治医とはMC Sの活用で常に相談、新たに知り得た情報は共有している。</p> <p>○主治医とは常に情報共有がされている。</p> <p>○緊急時は主治医と連携が取れるようになっており、メールでも看護師が相談、入った新しい情報は共有してくれている。</p> <p>○主治医によっては共有しきれていないケースもある。</p> <p>○ご利用者様へ緊急連絡先の用紙を渡している。緊急時には主治医に報告し指示を仰いでいる。</p> <p>○介護職なので、主治医と直接やり取りする機会はない。</p> <p>○主治医への相談や共有ができ、迅速な</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>対応ができていると思う。</p> <p>○緊急時は事務所に必ず連絡をするようにしている。</p> <p>○利用者様の状態に合わせて、家族様等と連絡取って今後の対応を話合っている。</p> <p>○無回答 1</p>					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	8	6	2	1		<p>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○急変時には看護師が常に対応（夜間帯はオンコール）、主治医にも必要があれば看護師より情報共有・報告出来ている。</p> <p>○オンコール体制が整っており、管理者が看護師になったこと、オンコールが別対応中でも管理者へ連絡が入る体制を取っている。</p> <p>○土日、祝日、夜間でも急変時には対応してくださっている。</p> <p>○急変時は看護師に連絡し、すぐに看護師から主治医に連絡を取ってくれている。</p> <p>○往診介入しているご利用者様が多く、</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		夜間でも急変時は対応している。 <input type="radio"/> 24 時間体制で看護師もいる。 <input type="radio"/> 利用者様の状態によって救急車を呼んで いる。 <input type="radio"/> 24 時間看護師が対応出来る体制を整 えている。 <input type="radio"/> 無回答 1					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	<input type="radio"/> 運営推進会議等において、 利用者のために必要と考え られる包括的なサポートに ついて、民生委員・地域包括 支援センター・市区町村職 員等への情報提供や提案が 行われている	4	8	3	2		<input checked="" type="checkbox"/> 「利用者のために必要となる、介 護保険外のサービスやインフォ ーマルサポート等を含めたケア の提供について、多職種とともに 検討・支援を行っていくなどの取 組」の充足度を評価します <input checked="" type="checkbox"/> そのような取組をしたいことが ない場合は「全くできていない」 <input checked="" type="checkbox"/> 民生委員のみでなく、自治会長や 町会長などの住民代表も対象で す
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <input type="radio"/> 日々の事をお伝えし、それに対し 民生委員や包括の職員さんから意見があ り、その内容を活用させて頂いている。 <input type="radio"/> 運営推進会議に事業所管轄の山陽包括 だけでなく、ご利用頂いている人数の多 い飾磨包括も参加依頼し、参加頂けてい る。最近は多方面になってきているので、 そちらへも働きかけを検討している。 <input type="radio"/> 活発な意見交換が行えている。 <input type="radio"/> 運営推進会議にて 2 か月に 1 回情報共 有している。 <input type="radio"/> 直接提案したりする機会はない。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<input type="radio"/> 可能な限りできることはされている。 <input type="radio"/> 無回答 1					
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	<input type="radio"/> 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	1	8	6	2	<input type="radio"/> 誰でもすぐに見ることができる形ではない。⇒冊子たてに立てており、いつでも見られるようにし、職員にも伝えているが、忘れていた可能性あり。	<input checked="" type="checkbox"/> 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] <input type="radio"/> 記録については閲覧できるようにしているが、日々の業務に追われ見る機会がない職員もいるのが現実。そのため、閲覧できなくても、口頭で情報共有できるよう、部会や申し送り時に発信している。 <input type="radio"/> 運営推進会議での情報は申し送りなどで発信している。 <input type="radio"/> 記録はしっかり出来ているが情報発信については口頭で伝わることが多い。 <input type="radio"/> 部会で共有されている。 <input type="radio"/> 記録はあると思うが見たことはない。 <input type="radio"/> 会議に参加出来るのであれば参加し、他の職員に発信することはしている。 <input type="radio"/> 誰でもすぐに見ることが出来る形ではない。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		○無回答 1					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	1	7	7	2	○居宅支援事業所への働きかけを行うが、なかなか看多機が普及しない。⇒居宅で対応できるという意識が強いケースが多い。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○会議後に所長から情報共有してもらっているが、記録の保管場所は知らない。</p> <p>○順次、スタッフに参加してもらい、知った情報をスタッフ間で共有してもらいたいが、そもそも参加するスタッフ確保が難しい。</p> <p>○各地域の組合員の方々の運動（ひめじ配布等）を通して地域とのかかわりを継続している。</p> <p>○フォーラムなどがあり誰でもみに行けるようになっている。</p> <p>○機会がない。</p> <p>○頻繁ではないが、施設に出向いての説明や講演会もしていた。</p> <p>○組合員活動が中心で職員は活動の内容をあまり理解していない。</p> <p>○無回答 1</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している						<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	12	4		1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		<p>り、実施できる職員が増えている。 ○喀痰吸引のできる介護職を配置しており、吸引が必要なご利用者様の受け入れもしている。 ○喀痰吸引等の資格を持つ職員が多く体制はよく整っている。 ○積極的に受け入れている。 ○無回答 1</p>					の視点から、充足度を評価します
36	○「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		6	3	5		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<p>[具体的な状況・取組内容] ○夜間は介護職員だけとなり、受け入れる体制は整っていない。 ○レスピの着脱が介護職員は非対応、介護職員 1 名の夜勤の為、受け入れはできない。また、デイだけであれば看護師で対応できるが、デイの送迎等、朝夕で移動の負担、ご利用者様の身体的負担を考えると受け入れが難しい。 ○介護職員では対応できない。 ○呼吸器のご利用者様は現状いないが、安全な移動方法の確保や状態が安定していれば受け入れる体制にはある。 ○無回答 4</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
37	○「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	14	3		1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○実際に看取りで入所されるご利用者様もおられ、看護師とも連携して対応できている。</p> <p>○相談時に『看取りまでできる事業所』と説明しており、重度化した場合でも継続してご利用いただいている。</p> <p>○今年度 12 月まででお看取り 7 件あった。</p> <p>○多職種連携で体制を整えられている。</p> <p>○お看取りの方でも積極的に受け容れている。</p> <p>○24時間対応できるように看護師との連絡も怠らず出来ている。</p> <p>○実際に多くの看取りが行えている。</p> <p>○ターミナル期を在宅で迎えるご利用者様の受け入れをしており、状態に応じてプラン調整している。</p> <p>○看護師・介護職の連携と主治医との連携が取れている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	2	6	9	○ 包括システムの内容について理解していない、甘い部分がある⇒全職員研修でも実施した内容だが、自事業所がシステムの一部に値しているのか理解できていない。地域密着型のサービスであることを再度部会でも話をする必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」 	
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○ 地域包括システムの内容について理解していない。</p> <p>○ 自分は理解しているが、職員まで浸透しているかと言われると甘い部分があると思う。</p> <p>○ 住まい・医療・介護・介護予防・生活支援のサービスを一緒に提供するシステムとしか理解していない。</p> <p>○ 利用者にとって住み慣れた地域で自分らしい生活をするのと念頭に置いている。</p> <p>○ 地域に密着して対応していると思う。</p> <p>○ 全職員の理解には至っていない。</p> <p>○ 自分は理解していない。</p> <p>○ 具体的な計画等は理解していない。</p> <p>○ 無回答 1</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	8	8				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○とても広い範囲でご利用されている。</p> <p>○特定の集合住宅のご利用はなく、いろんな地域に出向いている。</p> <p>○特定エリアにとどまらず、依頼があれば積極的にサービス提供出来ている。</p> <p>○地域でできるサポートはないか職員間で検討し、必要であれば地域の方にも認知症であることを知ってもらい協力を得る。</p> <p>○広範囲において受け入れている。</p> <p>○エリア以外のご利用者様の受け入れも行っている。</p> <p>○可能な範囲で出来ていると思う。</p> <p>○無回答 2</p>					
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	3	6	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○職員の外部研修への参加。</p> <p>○地域に向けてはなかなか機会がないのではないか。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>○運営推進会議で自治会の方から意見を頂いている。</p> <p>○地域包括との連携が取れている。</p> <p>○病院や居宅訪問、看多機利用サービスの特徴等説明を行っている。</p> <p>○組合員活動を通して啓発が行われている。</p> <p>○ゴミ収集（市）の協力。</p> <p>○無回答 1</p>					<p>とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	<u>4</u>	<u>8</u>	<u>3</u>	<u>2</u>		<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○ご家族様に対しては介護に関する聞き取りや必要な指導等行えている。</p> <p>○自宅で知り得た情報を速やかに相談できている。</p> <p>○介護の視点からは見れていると思うが、看護の視点から地域に対して行われているかはわからない。</p> <p>○在宅介護をつつけるための家族支援や近隣の方、民生委員等への協力支援を求めている。</p> <p>○介護者への介護指導を行っている。</p> <p>○近隣の方々には取り組めていないと思</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		う。 <input type="radio"/> 組合員活動で行っている。 <input type="radio"/> 一部の利用者様は近隣の方の理解があり在宅を継続出来ている。 <input type="radio"/> 無回答 1					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている⇒5</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている⇒8</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている⇒1</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>無回答 4</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>○CMが定期的に見直し、ご本人やご家族様への聞き取り等行っている。その目標に向けて介護を取り組めており概ね達成できている。</p> <p>○各ご利用者様別に担当制、各担当のモニタリングでスタッフ一人一人の意識の変化が生まれた。</p> <p>○ご家族様にはより介護しやすい方法を提案出来、方法もスタッフが実際に行い指導している。</p> <p>○介護指導の為に時間を設けている。</p> <p>○ご利用者様に合った計画目標を立て実施している。</p> <p>○出来ているか不明。</p> <p>○毎月計画書を作成しご利用者様とご家</p>		✓ 「計画目標の達成」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		族様へ同意を得ている。 ○達成できるようにどうやって支援をしていくのか検討していく必要がある。 ○看取りが多いのでわからないが、在宅で過ごしたい方には在宅で、と本人の意思を尊重されていると思う。 ○生活維持について目標達成出来ている。 ○利用者様から看多機にお礼を伺うことがある。		
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている⇒ 8 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている⇒ 4 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている⇒ 1 4. 利用者の1/3には満たない⇒ 1 無回答 4 <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ○医療が必要なご利用者様には都度、看護師よりケアを実施されており、達成できている。 ○事業所だけでなく、ご自宅への訪問で指導も行っている。 ○ご家族様から『いつも助かっています』		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<p>とのお声を頂く。</p> <p>○医療依存度が高いご利用者様の利用開始時には特指示を主治医とも相談し密に看護の介入を行いフォローや指導を行っている。</p> <p>○説明しても家族感情もあり、理解しがたいご家族様もいる。</p> <p>○利用家族様より安心して頂いている。</p> <p>○送迎時家族様からの安心感を伺うことがある。</p>		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている⇒9</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている⇒4</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている⇒2</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p>無回答 3</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>○ご利用者様やご家族様の意向に沿って、施設や自宅で看取りが出来ている。</p> <p>○前以てタイミングを見計らい自宅か事業所か確認しておき、自宅の場合は動ける間に自宅へ、事業所の場合は必要であればご家族様に泊まって頂いている。</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<p>○ご利用者様の身体状態を理解できないご家族様もいる。</p> <p>○緊急時に対応できる訪問看護と主治医との連携でうまく出来ている。</p> <p>○適宜、ご利用者様の状態に応じて主治医と連携を取っている。ターミナル期はパンフレットを用いて状態変化についてもご家族様に説明を行っている。</p> <p>○事業所で最期を迎える看取り期のご利用者様も多くなってきている。</p> <p>○現在約5～6名の看取りしている。</p>		